

テーマ「わたしと奈義町の未来」

私は 20 年後の未来がどんな町になっているかを考えました。

私は人口を増やしたいと思います。

人口が増えるメリットは、お店や病院が増えて便利になる、学校や部活・イベントがにぎやかになる、町がお金に困りにくくなる、仕事が増えて大人も住みやすくなることです。

今後奈義町でも人口が減っていくと言われていますが、人口が減少することのデメリットを挙げると、町に賑わいや活気がなくなる、市町村が合併する、空き家が増え、治安が悪くなる、学校のクラスが 1 つに減り運動会などの行事の面白味なくなる、バスの本数が減る、伝統的文化や行事が減る、中学校の部活動が減るもしくは無くなる、税金が減る、コンビニやレストランなどの店舗が減ることだと思います。

こういった問題点を解決するには人口を増やすことが必要だと考えました。

奈義町では、子育て支援などの政策で出生率が高く、子供の数を保てており、この政策はずっと続けていくべきだと思います。

最近では、ALT が質の高い英語授業をしてくれるため、「教育をするなら奈義」というキャッチコピーを浸透させることが可能だと思います。「教育するなら奈義町」を浸透させ、移住者を増やすことが出来ないかを考えました。

中学校を例にとってみると、ALT が 3 名となった初年度から英語のスキルや学力向上の成果が出ているように思えます。姉の実体験でそう思いました。私の姉が中学二年生の時に奈義中からただ一人で英語暗唱コンクールに参加しました。結果は入賞すらできませんでした。姉が三年生になった時、各学年に ALT が配属され、姉は、休み時間や昼休み、放課後に 300 回以上 ALT からレッスンを受けました。それが成果となり、見事最優秀賞を受賞しました。その時は 1、2 年生も多数参加し受賞しています。

子ども園も、小学校も、中学校も ALT の授業が充実しているため、今後ますます成果が出てくると思います。

正月に帰省していた伯母達と奈義町の話をしていて気づきました。移住希望者に対して奈義町の英語教育を体験してもらうのが良いと思います。夏休みに奈義町に短期留学してもらうのはどうかと考えました。移住希望者には奈義町での田舎暮らし体験、そして、子供達には英語体験授業を受けてもらい保護者と一緒に参加できる留学体験があれば良いと思います。

「子育て」と「教育」の 2 つのキーワードで奈義町へ子育て世代の移住を増やし、奈義の人口が維持されたら良いと思います。ALT がいることによって、得られた効果はすばらしいものだと思います。

今年度も奈義中の生徒が英語暗唱コンクールで多数の受賞をしました。

私も奈義中の英語教育の環境を利用し、英語暗唱コンクールで賞をとりたいです。

英語暗唱コンクールでは奈義中の生徒が上位入賞し、上位入賞することを伝統としていき、後輩たちへ伝統をつなげていきたいです。

こういった取り組みをして、若い人が増えることで、20 年後の奈義町は活気あふれる町になっていると思います。